

令和7年秋の叙勲 椿 威氏旭日双光章受賞

令和7年(2025年)秋の叙勲において、一般社団法人全日本かるた協会の顧問の椿 威(つばき たけし)氏(83歳、仙台市在住)が、文化振興の功績が称えられ、旭日双光章を受賞されましたことをお知らせいたします。

椿氏は、幼少期から競技かるたに親しみ、昭和42年(1967年)の第13期名人位戦では、準名人位に輝くなど、名選手として活躍しました。その後、仙台鶴会の会長として多くの選手育成に努め、傍ら宮城県かるた協会を組織して県下のかるた会の協働体制を確立しました。更に当協会の東北地域の常任理事として競技かるたの普及と指導者育成に力を注ぎ、東北六県のかるた協会設立に尽力されました。また、当協会の審判部長、広報部長、総務部長、専務理事、副会長を歴任。半世紀に及ぶ活動における様々な創意・工夫により当協会の礎を築き、競技かるたの近代化に大きな功績を残されました。

令和5年(2023年)に当協会顧問に就任、今なお、競技かるたの普及振興に携わっています。



■椿氏授章の喜びのコメント

この度、令和7年秋の叙勲に際し、図らずも旭日双光章を受賞する栄誉を賜りました。この受章を同じ志を持って競技かるたを日本の文化として発展と継続を希求する協会員の中継ぎ役と受け止め、今後ともかるた界の全ての方々と手を携えてゆきたいと考えております。

■一般社団法人全日本かるた協会

小倉百人一首を活用して行う「競技かるた」の大会や、「小倉百人一首」に関する調査・研究、講演会・講習会等を通して、広く日本文化の振興・発展に努めています。昭和23年(1948年)に設立され、平成8年(1996年)より社団法人として、平成26年(2014年)より一般社団法人として活動しています。

日本文化である「小倉百人一首」が時を経て、「競技かるた」として親しまれるようになり、新たな文化として受け継がれています。全日本かるた協会は、次世代にも長く愛される文化ならびに競技のために、今後も活動して参ります。

<本件に関するお問い合わせ>

一般社団法人全日本かるた協会 事務局 電話: 03-3943-3100